

# 小型・軽量 ハンズフリー リングスキャナ

# RS5100シリーズ かんたんスタートガイド





# ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社



最前線のあなたに、最先端の力を。 Capture Your Edge



#### バッテリー バッテリパックはワンタッチで交 換可能。大容量バッテリもご 用意標準バッテリ 1回の充 電で14,400回スキャン

NFCタップしてペアリング Zebra WT6000、TC52、 およびその他のZebra NFC対応 デバイスとの瞬時で確実なペアリング スキャナ上部トリガー 業界初!狭い場所での ビッキング作業を効率よく行うための スキャナ上部のトリガー

**USB-C 充電** 標準USB充電ケーブル 付充電リングスキャナー \* ダブルトリガーのみ

> オプションのダブルトリガー その場での手の瞬時 切り替え可

> > **バイブレーション** 騒音環境や音に敏感な 環境向け、オプションの バイブレーション機能

● タブレットやスマホ、PCまで

720

●業務増加、人手不足をハンズフリーで解決

様々な機器にBluetoothで簡単接続可能

●NFCで簡単に端末とBluetoothペアリング

特徴

SE4710 OR SE4770

Zebraの高性能スキャンエンジン

●クラス最高レベルのバーコード読み取り

- ●IP65、耐コンクリート落下衝撃1.8m
- ●接続先の端末を指定する特殊設定を用意
- ●端末のLED4色を使って、業務指示可能

# 業務効率化を促進する豊富なアクセサリ



スペアバッテリ 簡単にバッテリ交換可能



トリガー コンフォートパッド 作業員の快適性を 向上します



**充電クレードル** 大容量のShareCradlesは、 20台のリングスキャナーまたは40台の スペアバッテリーを充電できます



シングルサイドトリガー

どちらの手でも使用可

複数の装着オプション アクセサリーにより、 作業員は手の甲またはネックストラッ プとしてスキャナーを装着できます



その他アクセサリー多数 • USB 充電ケーブル • 4-スロットリング充電器 • 8-スロット充電器 • …その他数々

2

## ゼブラのAndroid端末と合わせた利用シーン

#### 倉庫やバックヤードで

小型業務用端末FC30をアームバンドで装着して RS5100とペアリングして使用することで、ハンズフ リーでの業務が可能になります。ウェアラブル専用端 末WT6000はハンズフリーを実現するだけでなく、 NFCで簡単にRS5100とペアリングができ、作業効 率向上につながります。



FC30





WT6000

#### 冷蔵倉庫で

-20℃で動作するRS5100を、低温環境に強いゼ ブラの業務用Android端末TC52をペアリングするこ とで冷蔵倉庫でも作業ができます。業務用タブレット ET51を、フォークリフトにマウントすることで乗車しな がらの庫内ピッキング業務も可能です。



**FT51** 

TC52





| モデル              |        | RS5100(片面トリガー)    |              | RS5100 (ダブルトリガー)                 |         | RS507X (2020/5 販売終了)                | RS6000             |  |
|------------------|--------|-------------------|--------------|----------------------------------|---------|-------------------------------------|--------------------|--|
|                  | 1次元    | •                 |              | •                                |         | •                                   | •                  |  |
| スキャナ             | 2次元    | •                 |              | •                                |         | •                                   | •                  |  |
|                  | ミッドレンジ |                   |              |                                  |         |                                     | •                  |  |
|                  | 画像数    | 1280×960          |              | 1280×960                         |         | 752×480                             | 1280×960           |  |
| スキャンエンジン         |        | SE4710            | SE4770       | SE4710                           | SE4770  | SE4500                              | SE4750             |  |
|                  | エイマー   | •                 | +            | •                                | +       | +                                   | +                  |  |
| スキャナ上部トリガー       |        | •                 |              |                                  | •       | -                                   | -                  |  |
| スキャン回数           |        | 満充電から14,400回のスキャン |              | 満充電から14,400回のスキャン                |         | 満充電か35,000回のスキャン<br>70,000回スキャン(拡張) | 満充電から70,000回スキャン   |  |
| NFC              |        | •                 | •            | •                                |         | -                                   | •                  |  |
| バイブレーション         |        | -                 |              | •                                |         | -                                   | •                  |  |
| 充電方式             |        | バッテリー充電 οι        | r クレードル充電    | バッテリー充電 or クレードル充電 or<br>USB-C充電 |         | バッテリー充電                             | バッテリー充電 or クレードル充電 |  |
| Bluetooth Class1 |        | •                 | •            |                                  | •       |                                     | •                  |  |
| 電池容量             |        | 480r<br>735mAl    | nAh<br>h(拡張) | 480mAh<br>735mAh(拡張)             |         | 970mAh<br>1940mAh(拡張)               | 3350mAh            |  |
| サイズ(約mm)         |        | 幅28x奥行            | 21x長さ61      | 幅28x奥行21x長さ61                    |         | 幅58x奥行48x長さ74                       | 幅54x奥行33x長さ74      |  |
| 質量(約g)           |        | 70g 70g           |              | 143.2g                           | 183g    |                                     |                    |  |
| 動作温度             |        | -20℃^             | ~50℃         | -20℃~50℃                         |         | -20℃~55℃                            | -30℃~50℃           |  |
| 耐落下衝撃性能          |        | 1.8               | 1.8m 1.8m    |                                  | 3m      | 1.8m                                | 1.8m               |  |
| 耐                | 転倒性能   | 0.5mからの1,         | 000回の転倒      | 0.5mからの1,                        | 000回の転倒 | _                                   | 0.5mからの1,000回の転倒   |  |
| 防馬               | 里防水性能  | IPE               | 65           | IP                               | 65      | IP54                                | IP65               |  |

# WindowsでもiOSでもAndroidでも簡単に接続できます!

| BLE (Bluetooth Low Energy) |                   |     |   |  |  |
|----------------------------|-------------------|-----|---|--|--|
|                            |                   |     |   |  |  |
| Windows                    | Android           | iOS | - |  |  |
|                            | Bluetooth Classic |     | - |  |  |
|                            |                   |     |   |  |  |
| Windows                    | Android           | iOS |   |  |  |

| RS5100とB    | luetoothでHID接続方法  |
|-------------|---|
| 1. RS5100   | バッテリを取り付けます。  |
| 2. RS5100 0 | )トリガーボタンを押すとピピピと音が鳴り起動します。  |
| 3. 接続先に     | 合わせ接続バーコードをスキャンします。BLEで接続出来ない場合はBluetooth Classic をご使用下さい。                  |
| 設定内容:       | 工場出荷設定、BLE 又は Bluetooth HID設定、データ+ <enter>設定</enter>                        |
| 4. PC、スマ    | ?ートフォンで以下操作を行います。   |
| Windows     | 設定 > デバイス > Bluetooth オン > Bluetooth又はその他のデバイスを追加する > Bluetooth > RS5100を選択 |
| Android     | 設定 > 接続済みの端末 > BluetoothをON > Bluetooth > 新しいデバイスとペア設定する > RS5100を選択        |
| IOS         | 設定 > Bluetooth > BluetoothをON -> RS5100 を選択 > ペアリング                         |
| 5.メモ帳等      | を起動し、入力モードを半角英数字に設定します。   |
| 6. トリガー     | -ボタンを押してバーコードをスキャンすると、データが画面に表示されます。  |



最前線のあなたに、最先端の力を。 Capture Your Edge

# RS5100 MDFデモ



# MDFデモ手順

- 1. RS5100にバッテリを取り付けます。
- 2. RS5100のスキャントリガを押すとピピピ音が鳴り起動します。
- MDF設定バーコードを左から順にスキャンします。 設定内容:工場出荷設定、Bluetooth Classic設定、MDF設定
- 4. PCで以下操作を行います。

設定 > デバイス > Bluetoothオン > Bluetooth又はその他のデバイスを追加する > Bluetooth >RS5100を選択

- メモ帳を起動し、入力モードを半角英数字に設定します。
- 6. スキャントリガを押して右上のパッケージラベルをスキャンします。

# マルチバーコードスキャン(MDF)とは

- 全部または選択されたバーコードを出力
- 指定された順番でバーコードを出力
- バーコードデータを編集して出力
- 最大20個までのバーコードの一括読み取り。 最大9種類のフォーマットを登録可能
- コードタイプ、コード長、識別文字および開始位置の指定が可能
- 必要なデータがない場合、スキャンデータを破棄
- バーコードは1枚のラベル内にすべて収める必要はありません。 (トリガーを押している間に読み取れたバーコードが対象です。) 無償ツール123Scanで簡単設定!





MDF設定バーコード1 of 3

MDF設定バーコード 2 of 3

このページの設定バーコードは、かんたんスタートガイドとは共通利用することが出来ません! (注意)

# はじめに

このたびは、小型 軽量 ハンズフリー リングスキャナRS5100 シリーズ(以下、本製品) をお選びいただき 誠にありがとうございます。

本ガイドは、初めてのお客様でも本製品を簡単に使い始めていただけるように、基本的な 使いかたに絞って説明しています。

各パラメータの詳細など本製品の詳細な説明につきましては『RS5100プロダクト リファレンスガイド』など、付属のドキュメントをご参照ください。

なお、機種やバージョンにより、実際の製品と本ガイドの記載内容が異なることがあります。

バッテリに関するご注意

・指定された充電器以外では充電しないでください。

・火の中に入れないでください。また、ショートさせたり、分解しないでください。

・指定温度範囲を超える高温または低温で充電しないでください。

・火の近くや炎天下などに放置しないでください。

・水やその他の液体で濡らさないでください。

・バッテリパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ち に医師 に相談してください。

#### 製品保証

本製品の本体無償保証期間は1年間(12ヶ月)です。

※バッテリおよびケーブルなどのアクセサリは本体の製品保証に含まれません。

お願い

本ガイド内には、本製品を設定するためのバーコードが記載されています。 バーコードが隣接して読み取りにくい場合はピックリストの設定を読み取ってください。 目次

- 1. 小型・軽量 ハンズフリー リングスキャナ RS5100シリーズ かんたんスタートガイド
- 2. 小型・軽量ハンズフリー リングスキャナRS5100シリーズ
- 3. ゼブラのAndroid端末と合わせた利用シーン
- 4. RS5100シリーズ デモ
- 5. はじめに
- 6. 目次
- 7. 各部の名称と機能
- ●シングルトリガ設定機能
- 8. ストラップの付け方
  - ●ストラップの取り付けと取り外し
- 9. 各部の名称と機能
  - ●バッテリの取り付け
  - ●バッテリの取り外し
- 10. 使用方法
  - ●電源を入れる
  - ●Bluetooth接続
  - ●操作
  - ●RS5100でスキャン
- 11. RS5100+ゼブラ製品 TC5Xシリーズ WT6XXX接続方法1/2
  - ●電源オン
  - Bluetooth 接続
  - NFCタップツーペア
- 12. RS5100+ゼブラ製品 TC5Xシリーズ WT6XXX接続方法2/2
  - ●スキャン
- 13. アクセサリガイド
  - ●充電に関して
- 14. アクセサリガイド
- ●充電に関して
- 15. 接続のしかた (HID キーボード接続) ●iPhone/iPad との接続
- 16. 接続のしかた (HID キーボード接続) ●iPhone/iPad との接続
- 17. 接続のしかた(HID キーボード接続)
   Android との接続
- 18. 接続のしかた (HID キーボード接続) ● Android との接続

- 19. 接続のしかた (HID キーボード接続) ● Windowsとの接続
- Windowsとの接続
   20. 接続のしかた(HID キーボード接続)
   Windowsとの接続
- Windows20)
  21. HIDセキュリティ
- 22. 端末との再接続
- 23. ペアリングの解除
- 24. 自動的に付加コードを入力する
- 25. ピックリストモード ビープ音の大きさ
- 26. 全てのバーコードの読み取り EAN/JAN の読み取り
- 27. UPC-E の有効化/無効化
- UPC-A の先頭に "0" を付加する UPC-E の先頭に "0" を付加する Code39 の有効化/無効化 Code39 のスタート/ストップキャラクタを転送する
- 29. Code128 の読み取りの有効化/無効化 NW-7 (Codabar)の有効化/無効化 NW-7 (Codabar)のスタート/ストップコード 転送設定 GS1 DataBar-14 の有効化/無効化
- 30. GS1 DataBar Limited の有効化/無効化 GS1 DataBar Expanded の有効化/無効化 GS-1 コンポジットの読み取りCC-A/Bの 有効化/無効化 GS-1 コンポジットの読み取り CC-C の 有効化/無効化
- 31. QR コードの有効化/無効化 Data Matrix の有効化/無効化 PDF417 の有効化/無効化
- パスポート OCR 読み取りの設定 OCR-Bの 有効化/無効化 パスポート OCR 読み取りを有効化
- 33. サンプルバーコード
- 34. サンプルバーコード
- 35. テンキーコード
- 36. テンキーコード

各部の名称と機能

### 機能

図1 RS5100 シングル トリガ設定機能



7

本体の使いかた

ストラップの付け方

■ストラップの取り付けと取り外し

本製品を使う時は、付属のストラップを本体にセットします。

●取り付け

トリガーアセンブリラッチを押し込んで持ち上げる



RS5100からトリガーアセンブリを持ち上げます。



RS5100を人差し指に置いたときに、スキャントリガーが親指の隣に配置されるように、トリガーアセンブリを回転させます。

トリガーアセンブリをRS5100に合わせて、所定の位置にカチッと収まるまで押し下げます。





注:オプションのトリガーマウントネジがパッケージに含まれており、取り外したり回転したり する必要がない場合、プラスドライバーを使用してトリガーマウントを固定できます。

バッテリーを充電 RS5100を使用する前に、バッテリーを充電してください。 RS5100バッテリーを充電する には、アクセサリを参照してください。

## 各部の名称と機能

### バッテリの取り付け

- 1. RS5100 の上部にバッテリを合わせ、バッテリ収納部に挿入します。
- 図 2 バッテリの取り付け



- 2. バッテリを RS5100 のロック スロットに完全にスライドさせます。
- 3. カチッという音が聞こえるまで RS5100 内にバッテリをしっかりと押し、バッテリ リリース ラッチを本体に 完全に はめ込みます。

注:工場出荷時に出荷された新品のバッテリは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリを有効に するには、充電器 (クレードルまたはバッテリ充電器)に差し込む必要があります。

バッテリの取り外し

1. ラッチが持ち上がるまで、バッテリリリース ラッチを押し込みます。 図 3

バッテリの取り外し



### 使用方法

■使用方法

電源を入れる

デバイスの電源を入れるには: バッテリーを取り付けます(まだ取り付けられていない場合)。

注:工場出荷時の新品のバッテリーは保護のために出荷モードで出荷されており、バッテリーを有効 にするには充電器(クレードルまたはバッテリートースター)に接続する必要があります。 黄色のサイドスキャントリガーを押します。

Bluetooth接続

RS5100は、デコードされたバーコードデータをBluetoothを使用してZebraモバイルコンピューター およびその他のデバイスに送信します。使用する前に、Bluetoothを使用してRS5100をデバイスに 接続します。設定については、Bluetooth通信を参照してください。

操作

RS5100はデジタルカメラ技術を使用してバーコードの画像を取得し、ソフトウェアデコードアルゴリズ ムを実行して画像からバーコードデータを抽出します。

RS5100でスキャン

バーコードをスキャンするには:

スキャンアプリケーションを起動します。

スキャントリガーを押して、デバイスをバーコードに向けます。

赤色の照準がバーコードの中央に表示されるように、デバイスの位置を調整します。

バーコードが照準パターンによって形成される領域内にあることを確認してください。照準は、明るい 照明条件での視認性を高めるために使用されます。

ステータスLEDが赤く点灯します。デコードが成功すると、ステータスLEDが赤から緑に変わり、ビープ 音が鳴ります。

# RS5100+ゼブラ製品 TC5Xシリーズ、WT6XXX接続方法 1/2

#### 雷源オン

デバイスの電源をオンにするには、次の手順に従います。

1. バッテリを取り付けます(まだ取り付けられていない場合)。

Z

注:工場出荷時に出荷された新品のバッテリは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリを有効にす るには、充電器(クレードルまたはバッテリ充電器)に差し込む必要があります。

2. 黄色の側面スキャントリガを押します。

#### Bluetooth 接続



注: 下記の接続方法は、Zebra モバイル コンピュータのみに適用されます。詳細については、『RS5100 Product Reference Guide 家参昭してください。

NFC タップツーペア

RS5100 は NFC 対応で、Bluetooth タップツーペアをサポートします。

WT6000 や TC52 などのデバイスに接続するには、次の手順に従います。

1.NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。

2. RS5100 の NFC アイコンとデバイスの NFC アイコンを合わせます。 RS5100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続 が 確立されると、ステータス I FD が消灯し、 RS5100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

図 5 NFC アンテナに接触

NFC IT

NFC DJ



注: すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

Scan2Pair

SSI を使用して RS5100 を WT6000 や TC52 などのデバイスにペアリングするには、次の手順に従います。

1. デバイスで → > ■③の順にタッチします。 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) が開きます。

# RS5100+ゼブラ製品 TC5Xシリーズ、WT6XXX接続方法 2/2

図 6 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



2. RS5100 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS5100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS5100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。 デバイスで、ペアリングが成功したことを示すトースト通知(音声および画像)が表示されます。Bluetooth 接続が確立されると、デバイスの画面上にポップアップ通知が表示されます。

3. デバイスで 🧃 をタッチしてメイン画面に戻ります。

#### スキャン

RS5100 では、SE4710 と SE4770 の 2 つのスキャン エンジン オプションを使用できます。SE4710 は赤色 の LED ドット照準を、SE4770 は赤色のレーザー十字照準を、それぞれ照射します。 スキャンを有効にする方 法については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

#### SE4710 を使用した RS5100 のスキャン

バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

- 1. スキャン アプリケーションを起動します。
- 2. スキャン トリガを押して、デバイスをバーコードに向けます。
- 3. デバイスの位置を調整して、オレンジ色のドットの照準がバーコードの中央に表示されるようにします。 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

ステータス LED が赤く点灯します。読み取りが成功すると、ステータス LED が赤色から緑色に変わり、ビープ音が鳴ります。



**7**4

注:デバイスがピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. スキャン トリガを放します。

バーコードデータが画面に表示されます。

#### SE4770を使用したRS5100 のスキャン

バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

- 1. スキャン アプリケーションを起動します。
- 2. スキャン トリガを押して、デバイスをバーコードに向けます。
- 3. デバイスの位置を調整して、赤色のレーザー十字がバーコードの中央に表示されるようにします。
- 4. ステータス LED が赤く点灯します。読み取りが成功すると、ステータス LED が赤色から緑色に変わり、ビー プ音が鳴ります。 12



### アクヤサリガイド

#### 充電に関して



注: 『RS5100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリの安全に関するガイドラインに従って いることを確認してください。

RS5100 や予備バッテリを充電するには、次の表のアクセサリのいずれかを使用します。

#### 表1 充電と通信

|                                 |                        | 充電              |        | 通信                     |        |
|---------------------------------|------------------------|-----------------|--------|------------------------|--------|
| 説明                              | 部品番号                   | バッテリ<br>(デバイス内) | バッテリのみ | microU<br>SB から<br>USB | イーサネット |
| 4 スロット<br>RS5100 充電<br>専用クレードル  | CRD-RS51-4SCHG-01      | 0               | ×      | ×                      | ×      |
| 20 スロット<br>RS5100 充電<br>専用クレードル | CRD-RS51-20SCHG-<br>01 | 0               | ×      | ×                      | ×      |
| 8 スロット バッテリ充電器                  | SAC-RS51-8SCHG-01      | ×               | 0      | ×                      | ×      |
| 40 スロット バッテリ充電器                 | SAC-RS51-40SCHG-<br>01 | ×               | 0      | ×                      | ×      |

すべての充電アクセサリの詳細については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

#### RS5100 の充電

予備バッテリの充電

図 7 RS5100 をクレードルに挿入する

図8 クレードルにバッテリを挿入する





バッテリが正しく挿入されていることを確認します。 充電中であることを示す、予備バッテリ充電 LEDが 点滅します。



2. RS5100 が充電スロットに正しく取り付けられてい ることを確認してください。

注: ファームウェアを Bluetooth 経由でアップデートす る前に、RS5100 を充電することをお勧めします。

#### バッテリの充電

RS5100 充電 LED は RS5100 のバッテリの充電状態を 示し、予備バッテリ充電 LED は予備バッテリの充電状態を 示します。

#### アクセサリガイド

#### 充電に関して

Z

注:工場出荷時に出荷された新品のバッテリは、保護のため出荷モードで出荷されています。 バッテリを有効にするには、充電器 (クレードルまたはバッテリ充電器)に差し込む必要があります。

#### 表 2 充電 LED インジケータ

| 状態                             | 意味  |
|--------------------------------|---|
| 消灯                             | バッテリが充電されません。RS5100 またはバッテリが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続され<br>ていません。クレードルに電源が供給されていません。   |
| 黄色の点灯                          | バッテリを充電中です。   |
| 緑色の点灯                          | バッテリの充電が完了しました。   |
| 赤色で速く点<br>滅 (1 秒間に<br>2 回 点滅 ) | 充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。<br>- バッテリの温度が、充電するには低すぎるか高すぎる。<br>-バッテリの充電サイクルがタイムアウトに達した。バッテリが、フル充電サイクルの目安時間 (通常 8 時間)を経過しても充電できない。 |
| 赤色で点灯                          | 消耗したバッテリが充電中であるか、または完全に充電されています。  |

バッテリの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 105°F) の温度で行います。標準バッテリは、室温で 2.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。 充電温度が 5 ~ 10°C (41 ~ 50°F) の場合は、標準バッテリは 5 時間以内 に充電されます。

デバイスおよびクレードルは、バッテリの温度を監視します。バッテリの充電は、バッテリが安全な充電温度範囲内にあるときにのみ実行されます。高温(たとえば、約+35℃(+95℃))の場所では、デバイスまたは充電クレードルはバッテリの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリを許容可能な温度に保ちます。このプロセスでは、完全な充電サイクルを完了するために、さらに時間が必要な場合があります。RS5100またはクレードルは、異常な温度のために充電を行えなくなると、ステータス LED で示します。

#### 4 スロット RS5100 充電専用クレードル

図 9 4 スロット RS5100 充電専用クレードル



### 接続のしかた(HID キーボード接続)

本製品と端末をペアリングします。通常、ペアリングは最初に1 回だけ行います。以降 は本製品の

[リセットボタン]を押すだけで自動的に端末と接続されます(自動再接続設定時)。

■ iPhone/iPad との接続

iPhone を例に接続(ペアリング)の方法を説明します。

FINT ・本製品にバッテリを装着し充電しておいてください。
・本製品がスリープ状態の場合は「スキャントリガ」を押します。





**3** [Bluetooth] を ON にします。



4 「その他のデバイス」に表示される [RS5100: \* \* \*] をタップします。 ※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

その他のデバイス 🌼



5 本製品と iPhone がペアリングされて「接続済み」が表示されます。 続いて読み取りテストをして接続の確認をします。

| RS5100 S192695230D5 | 接続済み                 | (i) |
|---------------------|----------------------|-----|
|                     | 2126/10/00/01 1990-0 | 0   |

6 iPhone ホーム画面で [メモ] をタップして起動したら、 [新規] をタップします。

| 21 | -   |   |   | 1  | ŝ |
|----|-----|---|---|----|---|
| Ē  |     |   |   |    | - |
| ŀ  |     |   |   |    | 1 |
| à  | 195 | × | E | 50 |   |

7 本製品で次のバーコードを読み取ります。



123ABC\*&=

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



■ Android との接続

Android 8 を例に接続(ペアリング)の方法を説明します。

HINT ・本製品にバッテリを装着し充電しておいてください。 ・本製品がスリープ状態の場合は「スキャントリガ」を押します。





3 [Bluetooth] を ON にします。



△「使用可能なデバイス」に表示される [RS5100: \* \* \* ] をタップします。

※「\*\*\*」部分はそれぞれの製品により異なります。



5 ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。 続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



- 6 Android 端末で、メモ帳など テキスト入力ソフトを起動します。
- 7 本製品で次 バーコードを読み取ります。



123ABC\*&=

画面に次のように表示されれば接続は成功です。

| *         | <u>بة</u> | ۴ | Ô | ٥ | ł |
|-----------|-----------|---|---|---|---|
| タイトル      |           |   |   |   |   |
| 123ABC*&= |           |   |   |   |   |

記号が正しく表示されない時は、キーボードのタイプを日本語Windows に変更してください。

【PIN コードを入力して接続 設定をする場合】

- 前ページの1から4の手順を行います。
   この時、「PIN コード入力省略」以外のバーコードを読み取ります。
- 2 画面に「ペア設定コード」が表示されます。 ※ペアリングを実行するごとに、異なるコードが表示されます。

RS5100 S192695230D5096 をペ アに設定しますか? Bluetoothペア設定コード 993107

3 ペア設定コード

数字と「Enter」バーコードを本製品で読み取って入力します。 本書巻末の「テンキーコード」(巻末)で該当する数字のバーコードを一つ ずつ読み取ります。最後に「Enter」のバーコードを読み取ります。

RSS100 S192695230D5096

 Windows との接続 Windows 10 を例に接続(ペアリング)の方法を説明します HINT ・本製品にバッテリを装着し充電しておいてください。 ・本製品がスリープ状態の場合は「スキャントリガ」を押します。 本製品で次 バーコードを順番に読み取ります。 1 接続待ち状態になります。 2  $(\mathbf{1})$ 丁塭 こ戻す 日本語 Windows 3 BIF BLEをサポート していない場合 Bluetooth HIDプロファイル Windows スタート画面で 「PC 設定] → 「PC とデバイス] → 「Bluetooth] 2 をタップします。 8 uetooth とその他のデバイ 7/7/2 NAMES OF STREET, STREET, ST Sheeport, 7127-, 202 0 「Bluetooth デバイス 管理」で [Bluetooth] をオンにします。 3 Bluetooth + Numberh tet D オン ▲ [RS5100: \* \* \* ] をタップし、続いて表示される [ペアリング] をタップします。 ※「\*\*\*」部分はそれぞれの製品により異なります。 デバイスを追加する テバイスの電源が入っていて、検出可能になっていることを確かめてくだかい。没続するには、以下 からデバイスを選択してくだかい。

5 ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。 続いて読み取りテストをして接続の確認をします。

| デバイスの準備が盛いました!              |  |
|-----------------------------|--|
| 20 122-123 5° 904052040 X04 |  |

6 アプリ画面で [メモ帳] をタップして起動します。



7 本製品で次のバーコードを読み取ります。



123ABC\*&=

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



記号が正しく表示されない時は、キーボードのタイプを日本語Windows に変更してください。



#### ■ HID セキュリティ

HID モードのセキュリティレベルを設定します(初期設定は「低」)。

- ・HID セキュリティ低: PIN コード入力省略
- ・HID セキュリティ高: PINコード入力必要





HIDセキュテ高

- HINT ・いずれの設定でも Secure Simple Paring に対応しています。
  - ・接続する端末によっては、「低」に設定すると HID モードで接続できない場合 があります。
  - ・PIN コードを入力せずに HID モードで接続する場合は「低」に設定します。

端末との再接続

本製品には電源スイッチはありません。使用しないまま一定時間が経過するとスリープ 状態 になり、端末との Bluetooth 接続は切断されます。本製品の [スキャントリガ] を押すと スリープ状態から復帰します。

 ・自動再接続の設定
 本製品を自動再接続に設定すると、無線が切断した場合やスリープからの復帰時に
 自動的に再接続します。次のバーコードを読み取って自動再接続を設定します。
 (初期設定は「自動再接続する)



\*自動再接続する



自動再接続しない

- ●再接続のしかた(自動再接続に設定されている場合)
   スリープ状態の場合は[スキャントリガ]を押して本製品を起動します。
   続いて[リセットボタン]を押します。
   接続されると「ピッ」と音がします。
  - 接続できない場合は、端末の Bluetooth が ON になっていることを確認して ください。

ペアリングの解除

本製品とのペアリングを端末から解除するには、次の手順で行います。

- iPhone/iPad
- 1 iPhone 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
- 2 [RS5100:\*\*\*] [!]をタップし[このデバイスの登録を解除]をタップします。 ※「\*\*\*」部分はそれぞれの製品により異なります。
- Android
- 1 Android 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
- 2 [RS5100:\*\*\*] [\*]をタップし[切断]をタップします。 ※「\*\*\*」部分はそれぞれの製品により異なります。

• Windows

- 1 Windows 端末で [設定] → [デバイス] をタップします。
- 2 [RS5100:\*\*\*] をタップし [デバイスの削除] をタップします。 ※「\*\*\*」部分はそれぞれの製品により異なります。

1

 $(\mathbf{1}$ 



■ピックリストモード

読み取りエリアに複数のバーコードがある場合、照準が当たっているバーコードを読み 取りま

す(初期設定は「無効】



\*常に無効



有効

■ビープ音の大きさ

ビープ音量を設定します(初期設定は「大」。



大



中



小

■全バーコードの読み取り

すべてのコードタイプを読み取れるように設定します。



すべてのコードタイプを有効にする



すべてのコードタイプを無効にする

特定のコードタイプだけを読み取り可能にする場合は「無効」を設定した後、読み取り 対象のコードタイプの設定バーコードを読み取ります。

■ EAN/JAN の読み取り (初期設定は「有効)

• EAN-13/JAN-13

HINT



\*EAN-13/JAN-13を有効にする



EAN-13/JAN-13を無効にする

• EAN-8/JAN-8



\*EAN-8/JAN-8を有効にする



EAN-8/JAN-8を無効にする

■ UPC-A/UPC-E の読み取り

● UPC-A の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*UPC-Aを有効にする



UPC-Aを無効にする

● UPC-E の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*UPC-Eを有効にする



UPC-Eを無効にする



システムキャラクタおよびカンドリーコード (<カンドリーコード><システムキャラクタ>(データ>)

■ Code39 の読み取り

● Code39 の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*Code 39を有効にする



Code 39を無効にする







■ GS-1(GTIN)の読み取り

●GS1 DataBar-14 の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*GS1 DataBar-14を有効にする



GS1 DataBar-14を無効にする



■ GS-1 コンポジットの読み取り

● CC-A/B の有効化/無効化(初期設定は「無効)



\*CC-A/Bを無効にする



CC-A/Bを有効にする

● CC-C の有効化/無効化(初期設定は「無効)



\*CC-Cを無効にする



CC-Cを有効にする

- 2D バーコードの読み取り
  - QR コードの有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*QRコードを有効にする



QRコードを無効にする

● Data Matrix の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

● PDF417 の有効化/無効化(初期設定は「有効】



\*PDF417を有効にする



PDF417を無効にする

その他の設定

■パスポート OCR 読み取りの設定

パスポートに記載された OCR フォントを読み取ることができます。

次の手順でパスポート OCR 機能を有効にします。

1 OCR-B を有効にします。

元に戻す場合は「OCR-Bを無効にする」を読み取ります。





OCR-Bを有効にする

\*OCR-Bを無効にする

2 パスポート OCR 読み取りを有効化します。 標準の OCR-B 読み取りに戻す場合は「OCR-B Full ASCII」を読み取ります。



OCR-B Passport

\*OCR-B Full ASCII

PASSPORTJPNZBR00001Image: Distribution of the second se

●パスポート OCR

# 付録 1 サンプルバーコード

• Code39



123ABC







• Interleaved 2 of 5



12345678901231



• Data Matrix



● GS1 DataBar-14 (注: DataBar-14 を有効にしてください。)



7612341562341

● QR コード



テンキーコード

ペアリング時に要求されるペア設定コードやパスコードは、該当する数字バーコードを読み取り、最後に「Enter」バーコードを読み取って入力します。























Enter





ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目5番2号 内幸町平和ビル14階

TEL 03-4563-8862

2020年4月第1版